園評価　　令和７年度

１．教育・保育の理解と実践

保育所型こども園となり１年間経過したなか、教育・保育要領の内容を一人ひとりが理解することから始める。今までも教育を意識しながら保育を行ってきたので、こども園に変わっても職員の意識は変わらなかった。
子ども達の今取り組みたいあそびを発展させるために、環境を整えていき活動を展開する充実感を味わえるよう指導計画を作成している。

２．人権の理解

人権擁護の為のチェックリストに於いては、「こどもを尊重する保育のために」徹し、全員が子ども達の発育発達を願い保育を行っている。

３．行事や保護者対応の評価

職員の働き方改革の推進もあり、行事の前には超過勤務がどうしても多くなるので、簡単に出来るところは縮小していこうと取り組む。前年度と同じ行事数ではあったが、既製の物を活用したり、出演数を減らしたりして工夫をしている。
次年度は行事のねらいや内容を再度振り返り、次年度に活かせるよう取り組みたい。
また、保護者対応については、一斉メール・出欠アプリ・連絡帳など連絡手段は複数あるのでその都度利用されている。
幸い苦情等は一件もない。園の理念として「一人ひとりを大切にし、安心して預けられる保育園」を目指していることが、職員の意識付けが出来ているからだと思う。